

● 北海道北見支援学校 就学にかかわる教育相談のながれ

特別支援学級から特別支援学校へ（小中学部）

①保護者、本人の意思の確認



○特別支援学校への在籍変更や進学の意味が伝えられたら、すぐに対応します。（中学校への進学希望は、5年生のうちに希望を把握しておくようにしましょう。各校で進路調査のながれが定まっているとスムーズです）

○在籍変更は市町村教育支援委員会を経ることが前提です。その日程を考えて、教育相談等を計画してください。支援学校、支援学級で迷っている場合は、両方への教育相談が必要かと思われます。

○担任は、特別支援教育 Co、管理職へ伝えます。

→校内委員会などで、情報を共有し、希望が妥当かどうか検討します。5年生の時点で把握している場合は、6年生へ進級する際必ず引き継ぎをお願いします！

Co は担任の考えや保護者、本人の在籍変更、進学の意味を把握してください。

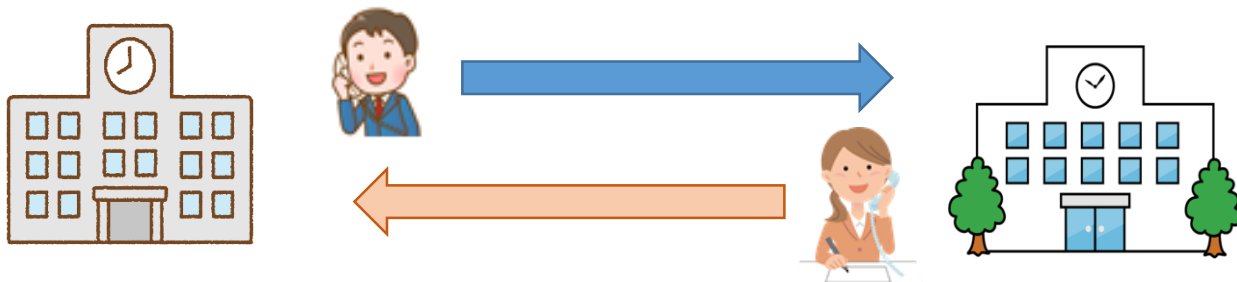
* 支援学校を希望する理由を明確にしておく、その後の教育相談などがスムーズです。

* 保護者の意思だけでなく、本人の意向も確認してください。

* スクールバスの利用の有無も伝えておく、当日の相談がスムーズです。

（スクールバスの利用には条件がありますので、情報が必要な場合はお伝えください）

②教育相談の申込 *在籍変更、進学共に教育相談が必要です。



ア まずは、教育相談の申し込みをします。HP の申し込みフォームか電話で申し込みをしてください。

イ 教育相談の日程調整や必要文書の確認が行われます。

希望日（曜日）どのような授業を参観したいか

転校してからのスクールバス利用希望

当日の参加者（保護者は両親？関係機関の方も？担任の先生は？など）

③必要文書の準備など～当日まで～



☐ 教育相談記録票（本校 HP に様式があります）

☐ 個別の教育支援計画（当日持参）

☐ その他

* 教育相談記録票は、事前に送付してください。難しい場合は本校に連絡の上、当日持参してください。

* 個別の教育支援計画は最新のものになっていますか？

* 個別の教育支援計画は必ずご持参ください。保護者が保管している場合は保護者が持参してください。

* 教育相談の日程が決まったら、本人へのお伝えをお願いします。

「どうして」「なんのために」行くのか…。本人にも分かりやすく伝えておいてください。

当日の時程を本人に伝えた方がいい場合は、学校に問い合わせてください。また、配慮事項がある場合は、対応が可能かどうかも含め、ご相談ください。

④当日



○ 予め、どのようなことを聞きたいか、まとめておきましょう。（保護者、担任）事前に伝えておくと当日の説明等がスムーズです。

○ 説明を聞いて、疑問に思ったことは遠慮せずにお聞きください。

○ 必ず上靴をご持参ください。

⑤ 終了後

◇本人、保護者の意向を確認します。

後から出てきた疑問などは、そのままにせず、速やかに本校にお問い合わせください。

◇特別支援学校への進学、在籍変更を希望する場合、所定の手続きをおこないます。

（この手続きに関しては、前後してもかまいません）

◇最終的な判断は、市町村の教育支援委員会です。教育相談の時点で、進学・転学の可否を本校から伝えることはありません。

⑥ その他

＊進学、転学の前年より前に教育相談を行った場合（中学部進学にむけての教育相談を5年生で実施したなど）は、翌年にもう一度教育相談を行いますので、次年度への引き継ぎをお願いいたします。

＊特別支援学校に在籍変更した場合の進路について、各校で保護者、本人とよく話し合う必要があります。教育相談時に本校からも説明しますが、「教育課程」そのものが大きく異なることを各校で進路指導として説明していただければ助かります。また、高校進学、その後の進路についてもさまざまな選択肢があります。それらを踏まえた進路指導を行って頂けるとより助かります。

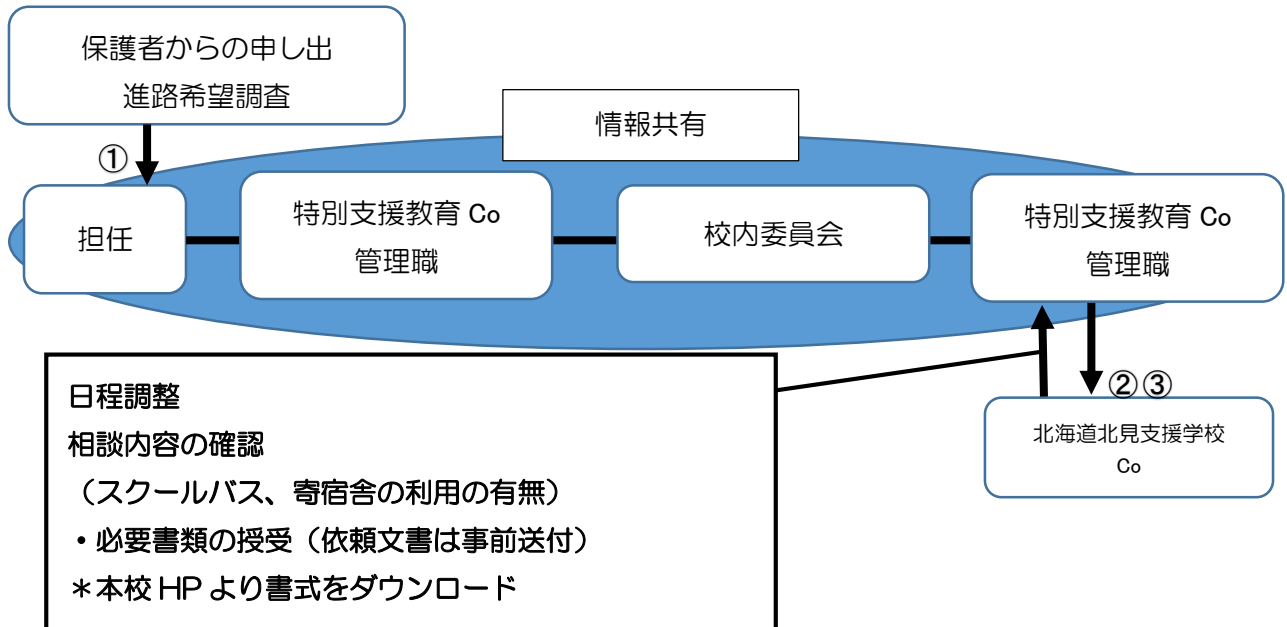
この流れとは異なる教育相談もあるかと思います。不明な点は、遠慮せずに本校にお問い合わせください。

【就学に関わる教育相談～フローチャート～】

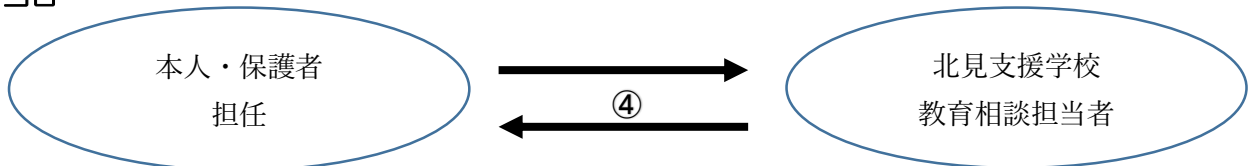
*「就学に関わる教育相談のながれ」とあわせてご覧ください。

①～⑤の番号は、そちらに対応しています。

1 実施までの流れ



2 当日



☆持ち物

- ☐ プロフィールシート (保護者記入用)
- ☐ 児童生徒の実態把握表 (担任記入用)
- ☐ 個別の教育支援計画
- ☐ 上靴

3 終了後

